

## 院内非専門医を対象とした肝炎ウイルス陽性者診療の院内連携の取り組み

研究分担者：柿崎 暁 群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 診療准教授  
研究協力者：戸島 洋貴 群馬大学医学部附属病院 肝疾患センター 病院講師

**研究要旨：**肝炎ウイルス検査は検診以外でも、入院時検査や手術前検査などでも検査を受ける機会がある。当院では、入院時あるいは術前検査で、年間約12,000件の肝炎ウイルス検査が行われている。入院時・手術前検査の多くは肝臓非専門医によって行われており、陽性者を適切に治療へアクセスさせるため、非専門医への啓発は重要である。C型肝炎ウイルス治療の進歩は目覚ましいが、非専門医の中には、インターフェロン治療時代の副作用等、古い認識のまま紹介しないケースも見受けられる。そこで、本研究では、非専門医を対象に、入院時・手術前検査で肝炎ウイルス検査陽性者の受療率向上のため、院内講習会での啓発、電子カルテによる受診勧奨メッセージ、肝炎検査陽性者の肝臓専門外来への受診勧奨、非紹介要因の解析等、院内非専門医との連携強化による肝炎治療受療率向上のための取り組みを行った。電子カルテによる受診勧奨メッセージ導入により、院内非専門医からの紹介患者数が増加した。非紹介要因の解析では、治療済み/他院通院、HCVRNA陰性、予後不良合併症などであり、概ね適切に紹介されていた。院内非専門医に啓発することによって、新規肝炎治療患者が増加した。

### A. 研究目的

肝炎陽性患者の適切な受療のため、入院時・手術前検査で判明した肝炎ウイルス検査陽性者の受療率向上を目的とする。

入院時・手術前検査は、非専門医によって行われており、患者への検査結果の通知、受診勧奨は、担当医や診療科によっても、温度差がある。そこで、院内非専門医を対象に、ウイルス性肝炎に関する最新の情報を啓発し、適正な受療行動へ、肝臓専門医と非専門医との間の連携システムの構築を目的とする。

### B. 研究方法

院内非専門医から肝臓専門医への肝炎ウイルス陽性者の連携システム構築のために以下の啓発活動を行った。

- 院内講習による啓発
- 電子カルテメッセージシステムによる受診勧奨
- 非紹介要因の解析

（倫理面への配慮）

個人情報に配慮し、院内倫理委員会の承認を得た。

### C. 結果及び考察

- 院内講習による啓発

院内非専門医からの紹介率向上のため、院内の各種講習会で肝炎ウイルス検査結果の説明と陽性者の肝臓外来紹介の啓発を継続した。入院時検査、術前検査などの肝炎ウイルス検査結果の適切な通知と陽性者の肝臓外来への紹介の必要性、肝炎ウイルス治療の進歩などを定期的に講習会で啓発した。



## E. 結論

電子カルテメッセージシステムを用いた非専門医に対する受診勧奨により、紹介患者数が増加し、受療患者数が増加した。非紹介要因の解析では、非専門医であっても、適切に検査をし、治療対象を選別出来ているケースも多くみられ、院内連携は進んでいた。

## F. 政策提言および実務活動

研究班活動に加えて、群馬大学附属病院肝疾患センター・副センター長、群馬県肝炎対策協議会委員として、群馬県保健予防課、肝炎対策協議会、肝疾患診療連携拠点病院と連携し、群馬県内の肝炎に関する総合的な施策の推進活動及び肝炎撲滅対策に取り組んでいる。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

\* Matono T, Isomoto H, Inoue T, Kakizaki S, et al. Do hepatologists follow-up low replicative hepatitis B virus inactive carriers effectively? A multi-center study with 2,640 HBV patients identified at their initial visits. HEPATOLOGY 70; 588A-588A: 2019

### 3. その他

#### 啓発活動

\* 柿崎 暁：肝臓病教室企画  
戸島 洋貴「肝臓病の基礎知識」  
令和2年2月18日  
主催：群馬大学肝疾患センター  
前橋市

\* 柿崎 暁：肝臓病教室企画  
戸島 洋貴「肝臓病の基礎知識」  
令和2年2月18日  
主催：群馬大学肝疾患センター  
前橋市

## H. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし